

# 「行政経営戦略プラン（行財政改革）」 住民説明会 結果報告

平成22年5月  
千早赤阪村

## 1. 行政経営戦略プラン（行財政改革）住民説明会 参加実績

月 日	旧小学校区	開始時刻	終了時刻	場 所	住民参加者
平成22年 4月24日（土）	小吹台小学校	14時00分	16時35分	千早小吹台小学校体育館	男44人／女42人／計86人
	赤阪小学校	19時30分	20時35分	赤阪小学校体育館	男39人／女10人／計49人
平成22年 4月25日（日）	千早小学校	14時00分	15時24分	旧千早小学校体育館	男30人／女 4人／計34人
	多聞小学校	19時30分	21時 5分	千早老人憩いの家	男25人／女 4人／計29人
合 計					男138人／女60人／計198人

## 2. 村長挨拶

千早赤阪村は、すでに皆さんがご存じのとおり二度にわたり合併協議に臨みましたが、合併成就に至りませんでした。

私は平成16年に村長に就任して以来、安定した住民サービスの継続と、安定した村の発展には市町村合併以外に道はないと信じて、河内長野市との合併協議に邁進してまいりました。私のリーダーシップの不足、指導力のなさが災いし、大阪府の力、河内長野市の力、住民の皆さんの力、議会の力を一つに集約することができませんでした。

この場をお借りして力不足をお詫びいたします。申し訳ありませんでした。

昨年9月の合併協議の破綻後、私がやるべきことは「合併破綻の責任をとること」であると認識しておりました。

私は村長就任以来、市町村合併の推進を村政の柱として村政を運営してまいりました。合併協議の破綻後、村の状況を見直したところ、合併ありきで棚上げしていたものですぐに解決しなければならない懸案事項が無数にありました。

私は村が直面している緊急性の一番高い財政課題に直ちに取り組み、村政運営に一定の道筋をつけることを念頭に財政健全化に向け、職員とともに大阪府のバックアップを受け全力で取り組みました。

昨年10月から2カ月かけて「行政経営戦略プラン」を作成、また今年1月から2カ月をかけて、具体的な取り組みを盛り込んだ「行政経営戦略プラン実施計画（案）」を作成し、議会や区長会に説明をいたしました。

この住民説明会は、「行政経営戦略プラン」を住民の皆さんに説明するとともにご理解をお願いするものです。

このプランの特徴は、村を取り巻く社会経済情勢が変化しない限り10年間は村の財政が破綻しないということ。また今年度か

らの3年間の緊急計画であり、あらゆる事態に対応できるよう、(案)の状態であるということ。またこの計画は村の財政状況を維持するためのプランであり、今後の村づくり(まちづくり)の計画は入っていないことにあります。

私は合併推進から単独行政へと気持ちを切り替えました。今回の「行政経営戦略プラン」づくりを通じて大阪府をはじめとした各関係者と改めて強い信頼関係を築き上げることができたと実感しております。近隣の市町の皆さんとも信頼関係を結ぶことができました。

これからのまちづくりの一環として現在、森屋西部地区において地区計画による開発が進んでおります。また、奈良県五条市に至るトンネル計画もスタートいたしました。水分のほ場整備も終わり、金剛山の登山客誘致作戦もスタートします。

また棚田ライトアップ事業は大阪府のバックアップを得て今年は昨年より少しグレードアップいたします。

私は、「行政経営戦略プラン実施計画(案)」が形を整えた時、合併協議の破綻の責任を取って辞職を考えました。しかし今ほど国や府との信頼関係が固まった時はありません。

私の任期はあと2年ありますが、住民の皆さんは今の私の責任の取り方が不十分だと思われるかも知れませんが、このような貴重な信頼関係の上に村の将来を築きたいと考えました。

職員ともども元気な村づくりに励みます。住民の皆さんのご協力をお願いし冒頭の挨拶といたします。

### 3. 「行政経営戦略プラン」住民説明会の主な質疑応答・意見

項目	意見等	回答
行財政改革	<p>●本プランは村民の生活を守らず財政を守っている。今回のような取り組みには反対である。村だけがしんどいわけではない。全国同じ状況である。</p>	<p>⇒今回の行政経営戦略プランは緊急措置であり、村の財政収支を少しでも回復させようとしたものである。(村長)</p>
	<p>●人口減少問題も提起されているが、税収を増やす取り組みをしなければならぬ。収入確保の方策はないのか。</p>	<p>⇒税収を増やす取り組みとしては森屋地区における地区計画による開発に着手しており、すぐに開発は進まないが、少しでも良いまちづくりができるように前向きに取り組んでいる。現在、農地の放棄地が増えており、それらを活かし農地付き住宅の取り組みができないかと考えている。金剛山においても登山客誘致の方策を進めたいと思っている。本村は森林資源が豊富であるため、エコロジー分野で活性化なども検討していきたい。村民の皆さんから色々と活性化に向けた取り組みのご提案をいただくが、村民の皆さん自らが業として取り組むまでの情勢にはなっていないのが実情である。</p> <p>人口増加ということについても十分認識しており、対応が必要である。(村長)</p>
	<p>●広報紙に水道整備要する事業費として40億円ということが掲載されていた。この根拠を説明してほしい。また水道料金について府営水道の料金が引き下げられるとのことであるが、「府営水道の拡大」における水道料金はどうなるのか、引き下げるのか。</p> <p>●水道料金の検討とあるがどれくらい値上げするのか。</p>	<p>⇒水道整備の事業費について、これは河内長野市との合併協議の中で市の水準に合わせた場合の事業費を示したものである。現在、実情として今後の水道整備に要する経費について精査している最中である。また、府営水道への拡大については、現在、府内の市町村の事業団方式で運営できないかということを検討しており、それらの動向も見ながら事業費の中で、水道料金についても精査していきたい。(村長)</p>
	<p>●本プランの中で公共施設の取扱いでマイナスの効果額があるが、なぜ、マイナスの効果額を記載するのか。マイナスの効果ならやらないでほしい。</p>	<p>⇒公共施設の廃止の中で効果額がマイナスとなっているものについては、一部、借地もあり廃止すれば建物を撤去しなければならず、その撤去費をマイナスとして積算している。(事務局)</p>

項目	意見等	回答
行財政改革	●固定資産税が1.4%から1.7%へ引き上げられるとのことであるが、この数字では0.3%しか上がらないように思うが、実質は約21%の増税となる。	⇒実質の引き上げ率でいえば、約21%となる。例えば年間30,000円の税金であれば36,000円になるということである。(事務局)
	●職員の新規採用が長年されていないようであるが、将来的にも新規採用が必要と考えるが、どのように考えているのか。職員のモチベーションは下がっていないのか。財政がしんどいからといって新規採用もしないのはいいか、組織として運営できるのか心配である。	⇒新規採用については平成14年度から8年間採用していない。平成16年当時では120人数名の職員がいたが、現在ではその1/3が減った。新しい力を注入していく必要があり、定員管理計画を策定し、新規作用も視野に入れた計画的な定員管理を早急に策定したい。(村長)
	●PDCAの頻度はどれくらいなのか。年に一度であれば住民に公表してもあまり意味がない。半期ごとに進捗状況を公表するなどの取り組みが必要ではないのか。	⇒基本的にPDCAの実施については、毎年決算などで事業費が確定した段階で実施し、その結果を次年度予算などに反映させるということになる。(事務局)
	●3年間の取り組みということであるが、これはそのまま平穩に計画どおりに取り組んだ場合の財政収支見通しである。天変地変があれば十分対応できるのか。今の財政状況では対応できないのではないのか。	⇒基本的に天変地変があれば、特別交付税などの国の措置により復旧が可能である。(事務局)
	●公共施設も老朽化が著しい中、必要なもの不要なものなど、アンケートをとって必要であればこれだけの経費が必要と説明し、寄附でも募ればよい。	意見のみ
	●本プランでは住民への負担が大きい。住民への負担の前に役場内部の改革と議会改革を推進すべきである。	意見のみ
	●3月議会に報告されたこのプランの第3章の基本方針について、「行政運営」から「行政経営」への転換というのは良い発想である。行政といえども経営の視点が必要である。	意見のみ

項目	意見等	回答
行財政改革	<p>●財政収支での不足額はすべて村民に負担させるのか。このまま一層過疎になる。財政破綻した北海道の夕張市では箱ものが多く作られ倒産状態となった。村の場合、役場ほど素朴な建物はない。保健センターも必要な施設である。そういう意味では余計な施設がなく、真面目な村である。</p>	意見のみ
	<p>●地区補助金などがあるが、補助金は事業に対し交付するなど見直しが必要である。例えば、住民からの提案に対し補助する提案型補助金などとするれば地域間で競争し、活性化につながるのではないか。</p>	意見のみ

### 3. 「行政経営戦略プラン」住民説明会の主な質疑応答・意見

項目	意見等	回答
まちづくり	●本プランでは削減ばかりで予算も縮小している。今後のまちづくりの計画としてはどのように考えているのか。	⇒財政運営面でのプランは一定出できあがったが、今後のまちづくりについてはこれからのことであり、第4次総合計画の中で検討したい。とりわけ収入を増やす方策が必要で、人を呼ぶことが大事である。そして村にお金を落としてくれる施策展開が必要である。例えば花の販売や楠公を活かした施策など様々な視点から検討していきたい。(村長)
	●観光施策や農業施策の充実が大事である。今後のまちづくりを推進していく中でどのように考えているのか。	⇒収入を増やす取り組みが必要である。住民負担は低くサービスは高くしたい。京都にある久御山町では税収が94%ある。幼稚園などすべて無料である。村もこのようにしたい。今後のまちづくりでは「業」としての農業を振興したいと考えている。
	●地産地消についてどのように考えているのか。また村の豊富な森林資源をどのように考えているのか。	⇒地産地消については村内の活性化のためにもできるかぎり推進していきたいが、村内の農業者などは個人でそれぞれ事業展開しており、それらをネットワーク化させる仕組みづくりが必要と思っている。また本村の森林資源については、CO2 対策など環境問題への取り組みに適している。今後はそういった方面での利活用などを検討したい。(村長)
	●第3次総合計画の進行管理はどうなっているのか。評価はどうか。PDCA はどうか。	⇒現在、第3次総合計画に基づき村政運営を行っており、第3次総合計画は今年が最終年度となっている。総合計画のPDCAは十分できていないのが実情であり、第4次総合計画ではしっかりとPDCAを進めたい。現在、現時点までの評価として作業を進めているところである。(事務局)
	●今後のまちづくりでは収入を増やすためにビジネスプランをPRしなければならない。行政のマネジメントが必要で、全国でも行政主導で取り組んだところが成功している。行政主導で事業展開を保障すればよい。	意見のみ



項目	意見等	回答
まちづくり	<p>●我々も棚田で活動をしている。周りでは個人で色々な取り組みをされているが、それがネットワーク化されていない。もっとPRすべきである。単に財政がしんどいからといって削減ばかりでは本当のまちづくりはできない。</p>	意見のみ
	<p>●人材を発掘して村づくりに生かすべきである。</p>	意見のみ

### 3. 「行政経営戦略プラン」住民説明会の主な質疑応答・意見

項目	意見等	回答
その他	<p>●議会改革への要請が盛り込まれているが、先般、議員定数の削減が決まったが、平成25年度以降にその効果があるはず。その効果が示されていないように思うが。</p>	<p>⇒議会については報酬の10%削減などで年間500万円の財政効果があり、財政収支見通しの中に効果額として盛り込んでいる。また議員定数の削減についても3年先であるが、一定の財政効果がある。PDCAを実施する中で財政収支見通しに反映させたい。(村長)</p>
	<p>●議会改革のことを書かれているが、議会改革をもっと推進すべきである。</p>	<p>⇒議員定数を10人から3人削減し7人とする条例改正が議会で可決された。3年先の選挙から採用するとのことであるが、今すぐ財政効果はないが、3年先でも議会の取り組みとして一定評価できるものと思っている。(村長)</p>
	<p>●橋下知事が提唱している府市の再編などが言われているが、今後の住民サービスの広域化はどのようになるのか。将来のプランはどうなっているのか。</p>	<p>⇒大阪府と大阪市の統合の構想であり、行政のスリム化を図るということで話ができきた。統合すれば約5兆円規模予算の行政ができる。今後、本件の内容について、話し合いの場があるようであるが、今の状況ではどのようになるかわからない。</p>
	<p>●河内長野市との合併は破綻すべくして破綻したと思っている。今後は村単独で行政を運営することは無理である。近い将来、新たな合併をせざるを得ないと思う。近い将来、合併を考えていくべきである。</p>	<p>⇒現在、高槻市と島本町との合併話が持ち上がっている。村では富田林市、河内長野市、大阪狭山市と3町村で府の権限委譲事務の広域連携に向けた取り組みを進めている。府も広域連携の取り組みを推進しており、行政の広域化は今後10年間で大きく動くと考えている。本村もこれらの動きを注視しながら村政運営に取り組みたい。(村長)</p>
	<p>●削減、削減ばかりであるが、村議会は何をしているのか。定数を10人から3人削減し、次の選挙から採用するとのことであるが、3年先のことである。それをいかにも3人分削減効果として年間1500万円の効果があるとチラシに書いているが、まぎらわしいことを書くべきでない。行財政改革の取り組みも議会が住民に対し我慢してくれと言うべきである。</p>	<p>意見のみ</p>

項目	意見等	回答
その他	<p>●河内長野市との合併協議が破綻した理由が十分に整理されていない。そのような中、このような住民負担を強いるのは受け入れられない。一定のケジメをつけるべきである。河内長野市との合併協議は村からお願いして村から諦めるというのはおかしい。納得がいかない。</p>	意見のみ